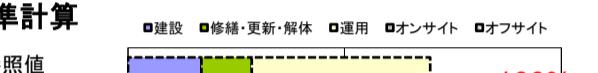
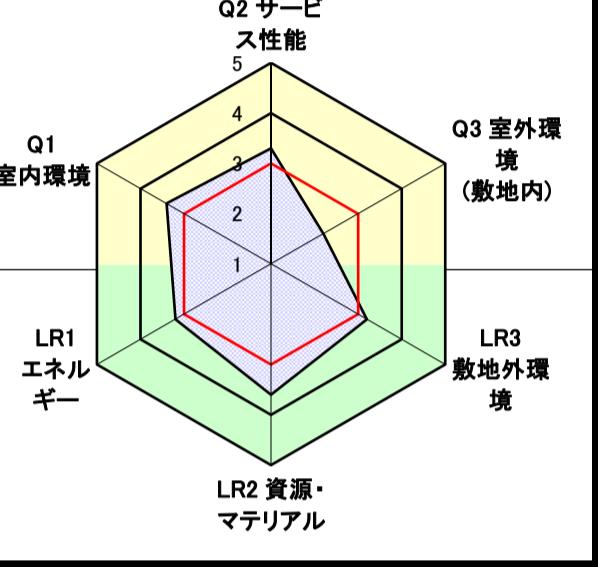
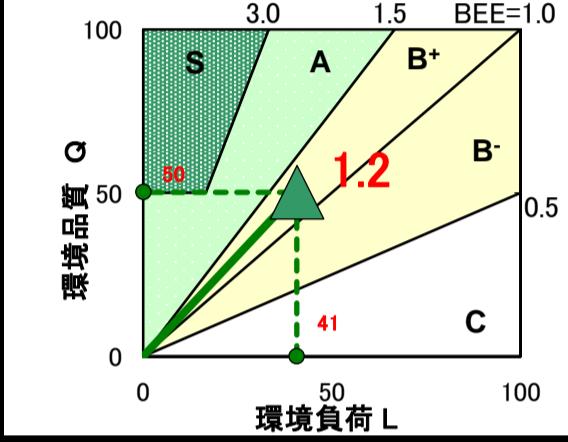
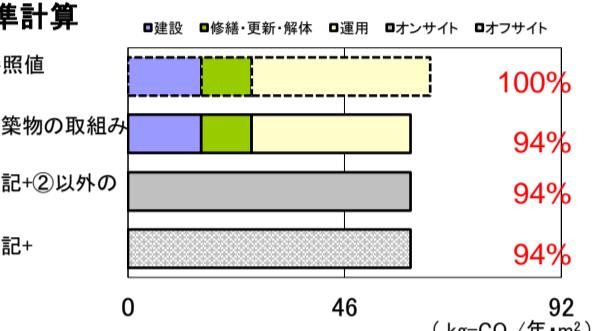
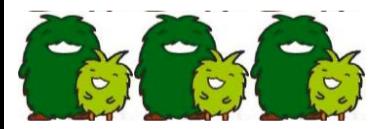


# CASBEE あいち

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	M&K本店	階数	地上2階
建設地	愛知県西尾市上町南又七山28-1 他13筆	構造	S造
用途地域	準住居地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,840 時間/年
建物用途	集会所・工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2023年5月 予定	評価の実施日	2022年11月28日
敷地面積	6,264 m <sup>2</sup>	作成者	山田 豊久
建築面積	3,796 m <sup>2</sup>	確認日	2022年11月28日
延床面積	6,243 m <sup>2</sup>	確認者	武井 豊司

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																																											
BEE = 1.2																																															
																																															
		<p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したもの</p>																																													
2-4 中項目の評価(バーチャート)																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">Q 環境品質</th> <th colspan="2">Q のスコア= 3.0</th> </tr> <tr> <th colspan="2">Q1 室内環境</th> <th colspan="2">Q2 サービス性能</th> <th colspan="2">Q3 室外環境 (敷地内)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">Q1のスコア= 3.4</td> <td colspan="2">Q2のスコア= 3.3</td> <td colspan="2">Q3のスコア= 2.2</td> </tr> <tr> <td>音環境</td> <td>3.0</td> <td>機能性</td> <td>3.3</td> <td>生物環境</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>温熱環境</td> <td>3.3</td> <td>耐用性</td> <td>3.0</td> <td>まちなみ</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>光・視環境</td> <td>N.A.</td> <td>対応性</td> <td>3.6</td> <td>地域性・</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>空気質環境</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						Q 環境品質				Q のスコア= 3.0		Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)		Q1のスコア= 3.4		Q2のスコア= 3.3		Q3のスコア= 2.2		音環境	3.0	機能性	3.3	生物環境	1.0	温熱環境	3.3	耐用性	3.0	まちなみ	3.0	光・視環境	N.A.	対応性	3.6	地域性・	2.5	空気質環境	4.0				
Q 環境品質				Q のスコア= 3.0																																											
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)																																											
Q1のスコア= 3.4		Q2のスコア= 3.3		Q3のスコア= 2.2																																											
音環境	3.0	機能性	3.3	生物環境	1.0																																										
温熱環境	3.3	耐用性	3.0	まちなみ	3.0																																										
光・視環境	N.A.	対応性	3.6	地域性・	2.5																																										
空気質環境	4.0																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">LR 環境負荷低減</th> <th colspan="2">LR のスコア= 3.3</th> </tr> <tr> <th colspan="2">LR1 エネルギー</th> <th colspan="2">LR2 資源・マテリアル</th> <th colspan="2">LR3 敷地外環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">LR1のスコア= 3.2</td> <td colspan="2">LR2のスコア= 3.6</td> <td colspan="2">LR3のスコア= 3.2</td> </tr> <tr> <td>建物外皮の</td> <td>5.0</td> <td>水資源</td> <td>3.4</td> <td>地球温暖化</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>自然エネ</td> <td>3.0</td> <td>非再生材料の</td> <td>3.4</td> <td>地域環境</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>設備システ</td> <td>2.5</td> <td>汚染物質</td> <td>4.3</td> <td>周辺環境</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>効率的</td> <td>3.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						LR 環境負荷低減				LR のスコア= 3.3		LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境		LR1のスコア= 3.2		LR2のスコア= 3.6		LR3のスコア= 3.2		建物外皮の	5.0	水資源	3.4	地球温暖化	3.2	自然エネ	3.0	非再生材料の	3.4	地域環境	3.3	設備システ	2.5	汚染物質	4.3	周辺環境	3.1	効率的	3.0				
LR 環境負荷低減				LR のスコア= 3.3																																											
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境																																											
LR1のスコア= 3.2		LR2のスコア= 3.6		LR3のスコア= 3.2																																											
建物外皮の	5.0	水資源	3.4	地球温暖化	3.2																																										
自然エネ	3.0	非再生材料の	3.4	地域環境	3.3																																										
設備システ	2.5	汚染物質	4.3	周辺環境	3.1																																										
効率的	3.0																																														
3 重点項目																																															
①地球温暖化への配慮	3.2	③敷地内の緑化	1.0	外構緑化指數(外構緑化面積/外構面積)	0.0 %																																										
				建物緑化指數(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %																																										
②資源の有効活用	3.3	④地域材の活用	1.0	<外装材に使用した地域性のある材料>																																											
				なし																																											
<p>各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。</p> <p>①地球温暖化への配慮 ②資源の有効活用 ③敷地内の緑化 ④地域材の活用</p> <p>外構緑化指數 = <math>\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100</math></p> <p>建物緑化指數 = <math>\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100</math></p>																																															



スコアシート	実施設計段階	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	全体
				評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点
Q 建築物の環境品質	配慮項目	重点項目						
Q1 室内環境						0.35		
1 音環境				0.2	3.0	0.20		
1.1 室内騒音レベル				3.0	-	-		
1.2 遮音				1.0	3.0	1.00		
1 開口部遮音性能				-	3.0	1.00		
2 界壁遮音性能				-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-		
1.3 吸音				-	-	-		
2 溫熱環境				0.4	3.3	0.47		
2.1 室温制御				0.5	4.5	0.50		
1 室温				3.0	5.0	0.38		
2 外皮性能				3.0	3.0	0.25		
3 ゾーン別制御性				3.0	5.0	0.38		
2.2 湿度制御				3.0	1.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	3.0	0.30		
3 光・視環境				-	-	-		
3.1 昼光利用				-	-	-		
1 昼光率				3.0	-	-		
2 方位別開口				3.0	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	-	-		
3.2 グレア対策				-	-	-		
1 昼光制御				5.0	-	-		
3.3 照度				3.0	-	-		
3.4 照明制御				3.0	-	-		
4 空気質環境				0.3	4.0	0.33		
4.1 発生源対策				0.5	5.0	0.50		
1 化学汚染物質				3.0	5.0	1.00		
4.2 換気				0.3	3.0	0.30		
1 換気量				3.0	3.0	0.50		
2 自然換気性能				3.0	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	3.0	0.50		
4.3 運用管理				0.2	3.0	0.20		
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	3.0	0.50		
2 喫煙の制御				3.0	3.0	0.50		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.3
1 機能性				0.4	3.3	0.40		
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40		
1 広さ・収納性				3.0	-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-		
3 バリアフリー計画	独自			3.0	3.0	1.00		
1.2 心理性・快適性				0.3	3.0	0.30		
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	-	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-		
3 内装計画				3.0	3.0	1.00		
1.3 維持管理				0.3	4.0	0.30		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	4.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保				3.0	4.0	0.50		
2 耐用性・信頼性				0.3	3.0	0.31		
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80		
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.3	0.33		
1 車体材料の耐用年数				-	3.0	0.23		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				-	3.0	0.23		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	5.0	0.09		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	4.0	0.15		
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23		
2.4 信頼性				0.1	2.8	0.19		
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20		
2 給排水・衛生設備				3.0	3.0	0.20		
3 電気設備				3.0	3.0	0.20		
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.20		
5 通信・情報設備				3.0	2.0	0.20		



## 重点項目スコアシート

M&amp;K本店

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.2</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.2	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.3</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.11	外構緑化:0%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

## ■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化  
 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}$   
 重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用  
 重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 M&K本店

計画上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"><li>既設店舗を建て替える事により、敷地の有効利用を図る。</li><li>LED照明を採用することにより環境負荷の低減を図る。</li></ul>
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"><li>F4☆の全面的採用。</li><li>ゾーン別に冷房、暖房の選択が可能な空調システムとする。</li></ul>
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"><li>人街、バリアフリー新法の建築物移動円滑化基準を満たした建物で身体障害者に配慮する。</li><li>主要な用途上位3種の、2種以上にC以上を使用し、Eは不使用。</li></ul>
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"><li>建物外部において、夜間照明の設置、防犯カメラの設置などを行い、防犯性に配慮している。</li></ul>
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"><li>BPIm:0.70</li><li>BEIm:0.89</li><li>LED照明器具の採用。</li></ul>
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"><li>節水器具の採用による水資源の保護を行う。</li><li>有害物質を含まない材料の使用。</li></ul>
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"><li>ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物と同等。</li><li>建物利用者の自転車置場、駐車場を適切に確保している。</li><li>低Nox型給湯器の採用。</li></ul>
その他	